

2 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録 (要 点)

日 時	令和5年2月24日(金)10時
場 所	庁舎第3別館2階 会議室
出席委員	教育長 田坂敏、委員 山本泰正、委員 長井俊朗 委員 仁志川由香里、委員 竹田美和
会議に出席した者の職・氏名	副教育長 秋山直人、教育大綱推進課長 松本典久、 学校教育課長 山川博一、生涯学習課長 木村仁士 学校給食課長 阿部孝文、教育大綱推進課長補佐 渡部さおり
傍聴人	一般1名、報道1社1名
議 題	議案 議案第1号 令和4年度教育費補正予算に係る意見聴取について 議案第2号 令和5年度教育費予算に係る意見聴取について 議案第3号 今治市開発総合センター条例の一部を改正する 条例制定に係る意見聴取について 議案第4号 今治市教職員住宅管理規則の一部を改正する規 則制定について 議案第5号 今治市公民館運営審議会委員の委嘱について 議案第6号 今治市美須賀コミュニティプラザ運営審議会委 員の委嘱について 議案第7号 今治市開発総合センター運営審議会委員の委嘱 について その他1 寄附採納報告について その他2 「今治市学校生活支援員」設置取扱要領の一部 改正について

田坂教育長	午前10時、開会を宣す
田坂教育長	日程番号1、1月教育委員会の会議録を承認してよいか問う
—各委員—	承認する
田坂教育長	日程番号2、会議録の署名委員に、山本委員、仁志川委員を指名する。
田坂教育長	日程番号3、教育長報告を行う
田坂教育長	質問はないか問う
—各委員—	なし
	<議題審議>
田坂教育長	「議案第1号 令和4年度教育費補正予算に係る意見聴取について」説明を求める
木村生涯学習課長	—「議案第1号 令和4年度教育費補正予算に係る意見聴取について」説明—
田坂教育長	質疑はないか問う
—各委員—	なし
田坂教育長	同意してよいか問う
—各委員—	同意する
田坂教育長	「議案第2号 令和5年度教育費予算に係る意見聴取について」説明を求める
秋山副教育長 松本教育大綱推進 課長 阿部学校給食課長 山川学校教育課長 木村生涯学習課長	—「議案第2号 令和5年度教育費予算に係る意見聴取について」説明—

松本教育大綱推進
課長

予算書に入る前に、この時点で、質疑はないか問う

山本委員

前回ご説明いただいた内容でほとんど承認いただいたのですか。認めてもらえなかったことは、特に大きな問題はないのでしょうか。

秋山副教育長

はい。概ね承認いただいております。

ただ例えばですけれども、支援員さん等々の人員の部分については査定の中で、少しここは辛抱できないかとか、そういったところの部分で、圧縮した部分はあるかと思いますが、基本的にはその増員の必要性という部分については認めていただいております。

あと課題解決型学習の部分について、コンサルティングファーム等々を活用したいろいろな取り組みというところの部分に関してはもう少し研究の必要があるというようなところで、様々ご意見を頂戴しておりますが、基本原則としてこういう形でというものでご提示したのについては、金額は若干圧縮した部分ありますけれども、どの項目についても、ご理解をいただいたという状況でございます。以上です。

山本委員

この2017年に、この今の日本の教育のこの時代遅れ、世界から取り残された、こういう状態を何とかしなければいけないということで、教育のあり方自体を見直そうというふうなことから出発したと認識しております。そしてそれは、結局は、学習指導要領をまず変えていくと。そして、加えて、インターネットテクノロジーを、ITを駆使してやっつけよう。そしてそれをやるためには、今の教職員の皆さんの労働実態をきちっと分析してこの働き方改革をやったうえで新しい教育のあり方を模索していかないと、教職員に負荷をかけても実行不可能であることは明々白々だということでスタートしています。

それを考えたときに、今治市の教育行政のあり方はこれでよいのかという疑問がずっとありましたが、私は前回と今日の説明を聞いて、緒に就いたような感じをしております。

例えば、ALTの増員の問題も、コロナだからということで、遅れて出来てないというふうに説明を聞いておりますが、やっているところはいくらでもあり、今度はこれを増やしてもらえる。

プログラミング教育はPepperを入れたことは動機づけにはなるかもしれないがそれでいいのかとか、いろんな問題はありますが、一応間取りができた、そういう意味では評価したいなと思っております。

当局の方のご理解もいただいたと思いますが、本当にそういう意味ではよかったなと思いますが、まだもっともっと充実しないといけないことが多いと思います。そして、やることは手段ですが、決してそれが目的にならないように、それがどういうふうにご利用されて、どうなったか、それは当初意図していたとおりか、どこが不足するかというふうな、PDCAサイクルを必ずまわして、何のために例えば入れたのかとか、そういうところに振り返っていただきたい。例えばコミュニティスクールなどの件でも、評議員になった皆さん方がどういう活動をしているのですかと聞いても、私が期待したような答えが返ってきたこと1回もありません。だから入れることは手段なのだけれどそれが目的化してしまっています。そして、何のために入れて、どういう活動をして、今現在どうなって、どこが問題で、どういうふうに変更したらもっとどうなるというふうな展開の仕方を方々お願いしたいと思います。

せっかくいただいた大事な予算は、市民の税金ですので、この厳しい状況の中で、これだけ認めてもらえたのですから、我々も、もう一遍性根入れて、そして、意義あるお金として使ってもらえるように、微力ながら、力を注いでいきたいというふうに思っております。どうぞよろしく願います。ありがとうございました。

秋山副教育長

ありがとうございます。本当にこの定例教育委員会の中で、各委員さんの方から様々発言させていただいたことを、財政の方にもしっかり上げさせていただいた結果だというふうに私も思っております。

間取りができたというご評価をいただいたと思いますけれども、まだまだ実は足りてないところもあるのは十分私どもも認識しております。そういった意味でこの後、ご議論をいただきたいというふうに思っておりますけど、PDCAサイクルをどう回すかというところまさに点検評価の考え方にもなろうかと思っておりますので、今回の予算、それから一般方針。どういうふうな形で連動させてしっかり評価をしてまた次年度生かすかっていうところについては、しっかりとまた相談をさせていただけたらと思います。

先ほどいただいたALTの問題やプログラム教育とか、コミスクの問題についても、私どもとしても認識をさせていただいて、次のステップに向けた取り組みをまたご相談できればというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。以上です。

竹田委員

学力向上対策のアシスタントの増員、もちろん予算が取れないと増員をかけることも不可能なのですが、予算を取った以上その増員というのは、ぜひしていただきたいと思うのですが、今人材不足と

か、学校現場でも人材不足というところ言われている中で、人員確保っていうところできているかどうかちょっと気になるのですが。もちろん、知っている人に声掛けするとか職安に募集する等方法を取られているかと思うのですが、そのあたりでこの人員確保は出来てますでしょうか。

山川学校教育課長

現在学校生活支援員、アシスタントも含め、今おっしゃられた通り、ハローワークの方に募集をかけているところでございます。

あわせて、今ご指摘のあったように、去年のことも踏まえて人材確保するためにいろんなところにも、誰かいないかということで、各校の校長先生方にもお願いをしているところでございます。以上でございます。

田坂教育長

補足しますと、先ほど山本委員よりご意見がありましたコミュニティスクールを活用しまして、地域の中から人材を発掘していくという、これもコミュニティスクールの大きな一つの仕事になって参ります。

コミュニティスクールは、これからいろいろな角度から検討させていただいて、当然もともとの作業はあるのですが、それプラス、人材発掘とか、或いは地域の人材活用を含めて支援をお願いするといった形でコミュニティスクールを活用してまいりたいと思っております。二重、三重もかけて人員を探していくというようなことをこれから行っていこうと思っております。

他にございませんでしょうか。

—各委員—

なし

田坂教育長

続いて松本局長、よろしく申し上げます。

松本教育大綱推進
課長

—「議案第2号 令和5年度教育費予算に係る意見聴取について」続いて説明—

山川学校教育課長
木村生涯学習課長
阿部学校給食課長

田坂教育長

質疑はないか問う

山本委員

質問ではないのですが、随所に「費用弁償」と出ているのはどういう意味ですか。

秋山副教育長	基本的には委員さん等の旅費を執行する場合、費用弁償という形で執行するというのが、いわゆる公会計の中で決まっておりますので、教育委員さんの旅費等は費用弁償という形の支給になるかと思っておりますので、ご理解をいただければと思います。
山本委員	わかりました。 それと、小学校管理費のところに2万円計上されている私用電話料は何ですか。
秋山副教育長	これも公会計の会計処理というふうにご理解いただきたいのですが、いわゆるピンク電話、各学校に置いている公衆電話で、子供さんが家に電話するような時に10円入れます。あれを集めたものが私用電話料というふうにご理解いただいたのでよろしいかと思いません。以上です。
田坂教育長	質疑はないか問う
—各委員—	なし
田坂教育長	同意してよいか問う
—各委員—	同意する
田坂教育長	「議案第3号 今治市開発総合センター条例の一部を改正する条例制定に係る意見聴取について」説明を求める
木村生涯学習課長	—「議案第3号 今治市開発総合センター条例の一部を改正する条例制定に係る意見聴取について」説明—
田坂教育長	質疑はないか問う
山本委員	これは値段を引き上げるのですか。
木村生涯学習課長	使用料自体については値上げ等は行っておりません。貸し出ししておる部屋が少なくなるということでの条例改正になっております。
山本委員	2割とか5割とか引き上げるのはどうか。それはもし、必要あるのならやむを得ないと思うのですが。
木村生涯学習課長	その欄につきましては、貸し出しする部屋を利用する際に、冷

—各委員—

同意する

田坂教育長

「議案第4号 今治市教職員住宅管理規則の一部を改正する規則制定について」説明を求める

松本教育大綱推進課長

—「議案第4号 今治市教職員住宅管理規則の一部を改正する規則制定について」説明—

田坂教育長

質疑はないか問う

—各委員—

なし

田坂教育長

同意してよいか問う

—各委員—

同意する

田坂教育長

「議案第5号 今治市公民館運営審議会委員の委嘱について」
「議案第6号 今治市美須賀コミュニティプラザ運営審議会委員の委嘱について」「議案第7号 今治市開発総合センター運営審議会委員の委嘱について」一括して説明を求める

木村生涯学習課長

—「議案第5号 今治市公民館運営審議会委員の委嘱について」
「議案第6号 今治市美須賀コミュニティプラザ運営審議会委員の委嘱について」「議案第7号 今治市開発総合センター運営審議会委員の委嘱について」一括して説明—

田坂教育長

質疑はないか問う

竹田委員

任期があるので、仕方ないことかもしれませんが、公民館等の運営委員会は、ほとんど学校の先生、校長、PTAの役員であったりするので、今日これを承認したとしてもおそらく4月1日にはまた半分ぐらい変更があるかと思います。どこかでその任期を、もう4月1日から2年間、1年間、というような形に変更することは難しいことなのでしょうか。

秋山副教育長

やりたいところなのですが、基本的には条例でその任期規定がされておりますので、一時的でもあれ、その任期を短縮する、或いは延長するという時には、条例改正を含めた必要な手だてをとらなければなりません。現状では、やはりその条例というのは非常に大き

なものですので、議会の同意をえられる意味でも、少し今竹田委員さんが発言いただいたような内容では、理由にはなりにくいというのが正直なところです。

お手数ですが、新任の委員さんが出る度に、こういう形でご承認をいただくという手続きをとらせていただければと思います。以上です。

田坂教育長

質疑はないか問う

—各委員—

なし

田坂教育長

承認してよいか問う

—各委員—

承認する

田坂教育長

「その他1 寄附採納報告について」説明を求める

松本教育大綱推進
課長

—「その他1 寄附採納報告について」説明—

山川学校教育課長

田坂教育長

質問はないか問う

—各委員—

なし

田坂教育長

「その他2 「今治市学校生活支援員」設置取扱要領の一部
改正について」説明を求める

山川学校教育課長

—「その他2 「今治市学校生活支援員」設置取扱要領の一部
改正について」説明—

田坂教育長

質問はないか問う

—各委員—

なし

田坂教育長

午前11時20分、閉会を宣す。

以上、会議の次第を記し、その相違ないことを証するため署名する。

山本委員 山本 泰正

仁志川委員 仁志川 由香里